

東光まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度 第1回

会議概要	
日時	令和4年6月27日（月曜日）午後6時00分から午後7時30分まで
場所	東部住民センター 1階 体育室
出席者	<p>委員（19名，正副会長以外は50音順）</p> <p>原田会長，森副会長，五十嵐（巨）委員，五十嵐（真）委員，大城委員，北野委員，國岡委員，幸田委員，佐々木委員，澤田委員，高橋委員，玉田委員，中島委員，中村委員，中山委員，仁田委員，松原委員，本松委員，森山委員，（欠席 本間委員）</p> <p>オブザーバー</p> <p>菊池 地域まると支援員，堀川 地域まると支援員</p> <p>事務局</p> <p>市民生活部 林部長</p> <p>地域まちづくり課 今課長</p> <p>東部まちづくりセンター 鈴木所長，道下主査，立岩</p> <p>その他</p> <p>東光公民館 田丸館長</p> <p>旭川市社会福祉協議会（地域まると支援員） 松林課長（統括）</p> <p>福祉保険部福祉保険課 古川主幹，鷲塚主査，柴田主査</p>
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	1名
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 東光まちづくり推進協議会委員名簿（令和4年6月1日 現在）</p> <p>資料2 旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料3 東光まちづくり推進協議会の会議ルール（案）</p> <p>資料4 地域で使える補助制度～令和4年度地域まちづくり推進事業補助金・負担金～</p> <p>資料5 東光まちづくり推進プログラム</p> <p>資料6 令和4年度東光地域活動計画</p> <p>資料7 東光いつも笑顔で世代間交流事業資料一式</p>

資料8 遊び場「トントン村」事業資料一式

資料9 令和4年度東光まちづくり推進協議会年間スケジュール（予定）

議事の内容

1 開会

会長選任まで、事務局が進行を行う。

開会し、新型コロナウイルス感染症対策を講じての会議開催である旨の説明、欠席者の報告を行った。

2 市民生活部長あいさつ

林市民生活部長が、他の公務により到着が遅れるため、市民生活部長挨拶は到着次第行うこととなった（林市民生活部長の挨拶は、「5 検討事項 (2)イ 令和4年度東光地域で実施される課題解決の取組について」の中で行われた。）。

会議に先立って、市政情報の提供として、旭川市福祉保険部福祉保険課職員から、地域まると支援員3名（松林氏、菊池氏、堀川氏）の紹介と支援員に関わる事業の説明があった。

3 委員及び事務局の紹介

委員改選後初めての会議であり、各委員と事務局の紹介が行われた。

4 会議の運営方法について

会議資料の確認を行った後、次第に沿って検討に入った。

(1) 会長選出

「地域まちづくり推進協議会設置要綱」第5条第1項の規定に基づき、原田委員が会長に選出され、本人も承諾した。会長選出に伴い、以後の進行を会長が行う。

(2) 副会長指名

「地域まちづくり推進協議会設置要綱」第5条1項の規定に基づき、森委員が副会長に指名され、本人も承諾した。

(3) 会議のルールの確認について

資料3に基づき事務局から、会議のルールについて説明があった。

各委員から特に発言はなく、会議のルールについて事務局案のとおり確認された。

5 検討事項

(1) 旭川市地域まちづくり推進事業補助金・負担金について

事務局から資料4に基づき、令和4年度予算と補助金・負担金のメニュー及びスケジュールについて説明あった。

各委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

(2) 東光まちづくり推進プログラムについて

ア 東光まちづくり推進プログラムの内容について

資料5に基づき、事務局から令和4年3月31日時点のまちづくり推進プログラムについて説明あった。

各委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

イ 令和4年度東光地域で実施される課題解決の取組について

令和4年度に東光地域で実施される課題解決の取組について、すでに活動が開始されている事業について、実行委員会に所属する委員から事業内容、実施状況、今後の予定等について報告があった。

令和4年度に実施される事業は次のとおり。

- ・こども・みらい事業
- ・シニアいきがい事業
- ・東光（U・D）チクリンピック事業
- ・東光消防団活性化事業
- ・東光いつも笑顔で世代間交流事業
- ・遊び場「トントン村」事業
- ・とうこう新聞発行业

各委員からの発言要旨は次のとおり。

【委員（こども・みらい事業 実行委員）】

- ・資料6（P.9, 10）により事業の内容を説明。

・子どもの学習支援では、教科書に載っていない体験も学習の一つと捉えており、ポストカード作り体験を予定。

・インターネットに関する研修会は、携帯電話の親子講習会として、学校行事等を考慮しながら時期を決め2回程度実施予定。

【会長】

実施して何年になるか。

【委員（こども・みらい事業 実行委員）】

子ども食堂は7月で丸7年、令和元年から夏休み・冬休み子ども食堂に加えて学習支援として朝活事業をやってきた。そこから子ども食堂がある日の午後に学習支援を付けてから2年目ぐらい。いつも子どもがいる状態で遊びをプラスした形。

【委員（シニアいきがい事業 実行委員）】

・資料6（P.11～13）により事業の内容を説明。

・シニア勉強会のうち認知症の勉強会は、実際に認知症を患っている方、また、その家族、ケア・補助されている事業所の方が集まるオレンジカフェの事業に参加し、そこで一緒に勉強させていただくこととなった。第1回は7月29日（金）を予定。

・男性料理教室は、10月後半を予定。男性が一人でも生活できるようにケアできればということで計画。調理師専門学校に依頼し講師、学生2、3名の指導を受けながら、交流も含めて一緒にできればと考えている。

・特殊詐欺・悪徳商法は依然として被害が減っておらず、東警察署、消費者協会に協力をお願いして、勉強会を11月に開催し意識啓発を図る予定。

・オレンジカフェは、7月29日（金）に東光スポーツ公園の武道館横で「認知症であってもなくても暮らしやすいまちづくり」をテーマに初めての屋外開催を行う。認知症の方、その家族、専門職、ボランティア、旭川医大の看護学生が参加予定。前半は、「これからも自分の足で外出しよう。」ということで森山メモリアル病院の理学療法士を講師に転倒予防教室を行い、後半は交流会。9月9日（金）は、東部中央公園で同じく屋外開催を予定。

今年度下半期は、この2つの活動をテーマにしてパネル展を3回開催予定。

・東光スマホ教室は、シニアの方がインターネットを活用することができるようになることで生活の幅が広がり、様々な交流の場所への参加、介護予防につながると考えている。多くの方に興味を持ってもらい、参加していただきたいと考えている。

東旭川・千代田地域包括センター担当分は、東地区体育センターを会場に、3回の実施を計画。7月15日（金）開催分はLINEについて、8月19日（金）はアプリの活用について、9月16日（金）は電子決済の方法について学ぶ予定。

東光地域包括センター担当分は、東部住民センターを会場に、3回の実施を計画。1回目は6月21日（火）に初心者向けを講師1名、サポート3名、参加者9名で実施済み。スマートフォンを持ちなれていない方が参加され、大変面白かったという感想も聞いている。次回は10月21日（金）でLINE編、11月11日（金）はインターネット活用の注意点を予定。

【会長】

こども・みらい事業、シニアいきがい事業について説明があったが、何か質問等は。

【委員】

いろいろと細かく説明していただいたが、ただ聞いているだけでは分かりづらいので書面にまとめてもらえるとありがたい。

【会長】

既実践されている部分については色々な取組の様子とか、特にどれくらいの方が担当者以外で参加されているか、その人たちがどういう感想を持っているのか、こういうところがまちづくりの一つの評価につながるのではないかと。そういう意味で書面にできる部分については書面で願いますということも確認していきたいと思う。毎回というわけにはいかないと思うが、一つまとまったところで評価も含めての考え方をお聞かせいただければと思う。

【委員（東光（U・D）チクリンピック事業 実行委員）】

- ・資料6（P.14～16）により事業の内容を説明。
- ・東光健康ウォーキングは、地域の魅力発見や健康作りを目的として、1回目を8月27日（土）に実施予定。東光スポーツ公園内のフィットネスサーキット体験も取り入れ、ゴミ拾いをしながら行う予定。
- ・チクリンピックパークゴルフは、東光の6市民委員会が広域にわたるため、住民同士の情報交換及び親睦を深めることを目的とし、10月7日（金）に6市民委員会対抗で、パークゴルフ大会を開催する予定。
- ・ボッチャ体験会は、パラリンピックで有名になった、障害を持った方のスポーツ。正式なボッチャは障がいを持っている人が誰でも参加できるというわけではなく、脳性麻痺・四肢障害の方しか参加できない。そこで、旭川で5年前から3人一組でチームを作れば誰でも参加できる、レク・ボッチャ選手権大会を開催。永山や東鷹栖などいろいろな地域で開催し体験していただいている。年齢や障がいのある・なしに関係なく参加できルールも柔軟になっている。単純なルールだが、奥が深い戦略ゲーム。東光地域でも多くの皆さんに体験していただきたい。

【会長】

東光チクリンピック事業について説明があったが質問は？

実際にボッチャを体験された方はいらっしゃる？

【委員（複数）】

先日体験会に参加した。難しい競技ではない。

【会長】

永山でやっているということだが、どのくらいやっているのか。

【委員（東光（U・D）チクリンピック事業 実行委員）】

- ・4年前から。3年間はまちづくり推進協議会の中で実施し、今年は永山公民館と共同で。以前は町内会でチラシを配布させてもらい年齢関係なく地域の方50人ぐらいの参加があったが、最近はコロナ禍で10～20人と減ってしまった。用具を貸してほしいという問合せがあり、各

町内会で貸し出した道具を使って集まって楽しんでもらっている。

【委員（東光消防団活性化事業 実行委員）】

- ・資料6（P.17,18）により事業の内容を説明。
- ・地域の方々に消防団活動をPRすることで、消防団の担い手の増加や、世代を問わず地域の防災意識の向上につながると考え、東光地域と豊岡地域連携して事業を計画。

今年度は、当初、大学生とのコラボで、防災についての企画・討論を検討していたが、新型コロナウイルスの感染状況により、困難となる。そこで消防団で行われる最大の行事である訓練大会が3年ぶりに開催されるので、訓練大会に至るまでの道のりを動画として記録。その映像を多くの地域の方々に見ていただき、消防団について理解していただければと考えている。訓練大会は、6月26日（日）に天候にも恵まれ実施され、記録は終了。

【委員（東光いつも笑顔で世代間交流事業 実行委員）】

- ・資料7に基づき事業内容を説明。
- ・今年4月からスタートした事業。東光地区市民委員会、東光地区社会福祉協議会、東光地区民生委員児童委員協議会、日本スポーツウエルネス吹矢協会の協力で実施。弓道と同じように意志統一から矢を吹くまで一連の基本動作があり、一人5回矢を吹き点数を競う。これから地域での参加者をさらに増やしていきたいと考えている。

【委員（遊び場「トントン村」事業 実行委員）】

- ・資料8に基づき事業内容を説明。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため開催を中止したり参加者がいない回もあった。

通常の開設のほかに、子どもたちが花火などをする機会が増える時期に火災予防の啓発のため、7月27日（水）に近くの公園で南消防署の協力のもと水消火器を使用した消火訓練を実施予定。

より多くの方々に参加していただけるよう、遊びの内容を随時見直しするとともに、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら広報に努めたい。

他の委員から特に発言はなく、資料のとおり確認された。

(3) 年間スケジュールについて

資料9に基づき、事務局から令和4年度の東光まちづくり推進協議会の開催スケジュール、今年度の協議内容の方向性について説明があった。

各委員から特に意見等はなく、資料のとおり確認された。

事務局から次の4点について説明があった。

1. 「旭川市民の日」について
2. 地域の子カラについて
3. まち協委員へのアンケートについて
4. 会議出席にかかる謝礼について

7 閉会